

# 月刊しばうら

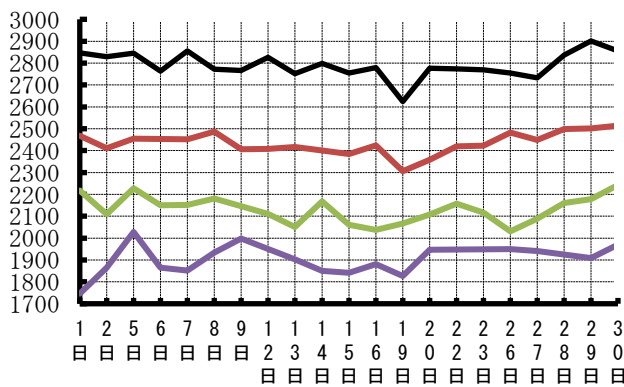
2018年4月号

## 大動物事業部

### <3月の相場動向>

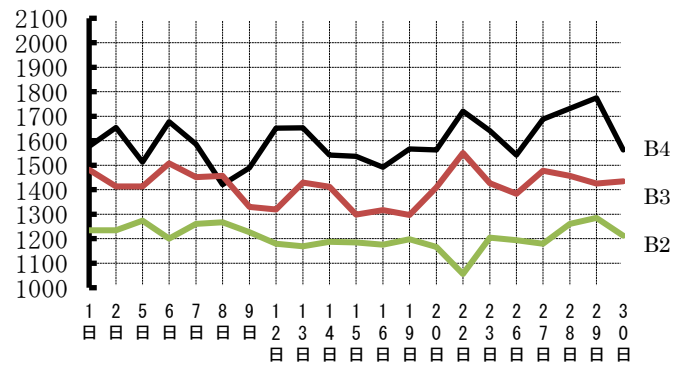
和牛去勢 A5 が前月比 29 円高の 2,795 円（前年同月比 18 円安）、A4 が 26 円高の 2,434 円（同 36 円安）、A3 が 19 円高の 2,131 円（同 58 円安）、A2 が 28 円高の 1,896 円（同 52 円安）となった。交雑牛去勢は B4 が 4 円高の 1,607 円（同 147 円安）、B3 が 7 円安の 1,418 円（同 161 円安）、B2 が 22 円安の 1,209 円（同 147 円安）となり、月初から枝肉相場は軟調な相場スタートしたが、後半にかけては出荷頭数も少ない日が多く続き、また気温上昇とともに末端需要の動きも見られ月末に向かって、和牛・交雑牛とも仕上りの良い枝肉は小じっかりとした相場動向となった。

和牛去勢 日別相場表（3月）



和牛去勢月平均	前年同月比	前月比
A5 2,795 円	99.4%	101.0%
A4 2,434 円	98.5%	101.1%
A3 2,131 円	97.4%	100.9%
A2 1,896 円	97.3%	101.5%

交雑去勢 日別相場表（3月）



交雑去勢月平均	前年同月比	前月比
B4 1,607 円	91.6%	100.2%
B3 1,418 円	89.8%	99.5%
B2 1,209 円	89.2%	98.2%

乳牛去勢月平均	前年同月比	前月比
B3 上場なし		
B2 986 円	105.5%	100.2%

### <4月の全国出荷頭数予測>

農水省の食肉流通統計によると2月の成牛と畜頭数は前年同月比0.4%増の7万7,570頭で、品種別には、和牛が0.5%増の3万1,530頭、交雑牛は6.7%増の1万8,653頭、乳用種は3.6%減の2万6,598頭で、去勢牛については5.9%減の1万4,264頭と今後も供給不足が継続する見通し。農畜産業振興機構による4月の出荷予測頭数は、前年比1.0%減の8万8,200頭と予測している。品種別にみると和牛は0.7%減の3万8,000頭、交雑種は0.1%減の2万900頭、乳用種は2.1%減の2万8,000頭としている。東京食肉市場の4月のと畜頭数は7,500頭を予定しています。

### <4月の牛枝肉相場見通し>

今年の桜の開花は、3月に入り暖かい日が多くなり全国的に平年より早い開花となった。4月は年度替わりでもあり、月初に補充買い、行楽需要、月後半には大型連休を控え需要品目も焼き材メニュー中心へと移行が進み活発な荷動きが期待される。和牛は3・4等級を中心に上昇基調で推移する見込み。交雑牛は量販店を中心とした引き合いで内容の良い枝肉への引き合いが強くなりつつあった相場展開が見込まれる。

和牛去勢	価格予測	交雑去勢	価格予測
A5	2,800~2,900	B4	1,600~1,700
A4	2,450~2,550	B3	1,400~1,500
A3	2,200~2,300	B2	1,200~1,300
A2	1,950~2,050		
乳牛去勢			
B3	1,100~1,150		
B2	950~1,050		

### <4月の牛肉輸入量予測>

財務省の貿易統計によると、2月の輸入牛肉通関実績は前年同月比8.4%減の3万7,185tと前年割れとなり、チルドは米国産や豪州産などがけん引して前月から1,400t増加の1万9,932t（同17.8%増）と2万t近い水準となった。ただ、フローズンは米国産などの輸入量が抑えられた影響もあり、昨対比で27.1%減の1万7,253tと大きく減少した。

農畜産業振興機構の予測による4月の牛肉輸入数量は、前年比15.4%増の5万9,400tと予測。チルドは、現地価格高により主に米国産の輸入量の減少が見込まれ、前年同月比0.4%減と下回るものの、2万3,000t前後で推移すると予測している。また昨年8月から関税緊急措置（SG）が発動しているフローズンは、年度明け（SG明け）となる4月は前年同月比28.2%増の3万6,700tと予測している。18年度フローズン牛肉の発動基準数量は10万4,000t強（協定対象外で4万4,000t強）と枠が広がっており、年度明け後の輸入動向が注目される。

輸入牛肉通関量		2月	前年同月	前年同月比
チルド	豪州	8,753	7,110	123.1%
	米国	10,331	9,072	113.9%
	その他	848	741	114.4%
	合計	19,932	16,923	117.8%
フローズン	豪州	11,341	10,424	108.8%
	米国	4,646	10,243	45.4%
	その他	1,266	3,013	42.0%
	合計	17,253	23,680	72.9%

単位：t

出典：食肉速報

## 小動物事業部

農畜産業振興機構によると1月の豚肉需給量は、生産量が7万7,568t（前年同月比100.4%）、輸入量が7万4,247t（同98.1%）、総供給量は15万1,815t（同99.2%）と減少した。

一方、推定出回り量は、国産品7万7,928t（同101.5%）、輸入品は6万7,918t（同108.2%）、合計で14万5,846t（同104.5%）と前年同月を上回った。この結果、推定期末在庫は国産品1万6,549t（同95.7%）と、輸入品16万209t（同101.2%）、合計17万6,758t（同100.6%）となった。

2月の全国と畜頭数は前年同月比0.5%減の130万122頭と前年より減少した。一方、同月の豚肉通関実績は、総量で6万7,947t（99.1%）と前年同月から減少した。チルドは3万228t（同101.9%）と増加が続いている。内訳は、米国が1万7,650t（同106.2%）、カナダは1万1,738t（同96.3%）、メキシコが837t（同98.8%）。一方、フローズンは3万7,719t（同96.9%）で内訳は、デンマークが7,598t（同93.0%）、スペインが7,947t（同102.3%）、メキシコが5,732t（同97.2%）、米国が3,934t（同91.9%）、カナダが2,382t（同78.8%）となった。

### <3月の豚取引の推移>

上旬	全国と畜頭数	上物価格	中物価格	上場頭数
1日	62,800	399	391	861
2日	61,200	419	394	802
5日	62,800	423	422	803
6日	65,500	441	412	930
7日	63,300	469	439	720
8日	65,400	458	432	843
9日	63,700	440	415	936

上旬の全国と畜頭数は1日あたり6万3,528頭、当市場は平均842頭であった。

3月1日の相場は400円を割り込む想定外の展開となった。3月は中間流通の決算期があることや、春休みの為学校給食の休止、また気温上昇に伴う鍋物需要の低下など相場の上げ材料は乏しい。

中旬	全国と畜頭数	上物価格	中物価格	上場頭数
12日	65,800	418	400	781
13日	66,700	428	405	760
14日	64,900	417	396	750
15日	68,300	402	378	821
16日	65,200	408	389	841
19日	70,600	405	385	657
20日	73,700	437	396	876

中旬の全国と畜頭数は1日あたり6万7,885頭、当市場は平均783頭であった。

全国と畜頭数は週明けの19日、20日は7万頭まで増加した。一方、末端需要は鈍い状態が続いている。相場は週明けから大きく下げ、その後も400円台前半で推移した。需要が伸びない中、輸入在庫は荷余り感があり、量販店などでも特売されるケースがみられた。

下旬	全国と畜頭数	上物価格	中物価格	上場頭数
22日	72,900	424	407	801
23日	71,000	439	423	917
26日	66,100	444	418	732
27日	67,200	436	417	930
28日	64,200	424	406	628
29日	66,700	436	387	776
30日	64,400	416	391	882

下旬の全国と畜頭数は平均一日当たり6万7,500頭と前年を上回ったがこの時期としては多くはなかった。当市場は平均809頭であった。

末端消費は鈍い状況が続いている為、相場への影響はなかった。全国的に温暖な気候が続いており行楽需要も高まっている中、焼き材の荷動きは良化し、スペアリブの引き合いも強まってきた。国産相場の安値を受けて量販店などでは国産物の特売を頻繁におこなった。

また、輸入には一部パーツを除いては余剰感がみられ、年度末の買い控えなどもある為に全体的な荷動きは鈍かった。

### <4月の豚枝肉相場見通し>

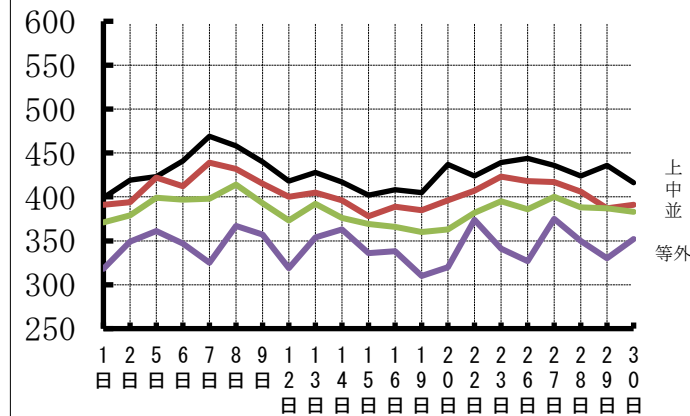
農水省による4月の全国と畜頭数予測では、134万7,000頭（前年同月比102%）、一日当たりの頭数は約6万7,350頭（20日稼働）と見込んでいる。当市場の3月の集荷予定頭数は1万6,500頭となっており、一日当たりでは約825頭の見込みである。

また、農畜産業振興機構によると4月分の豚肉輸入見込数量は、総量で7万6,100t（前年同月比99%）の予測となっている。内訳はチルドが3万2,500t（同101.8%）、フローズンは4万3,600t（同97.1%）の予測である。

4月は花見、GWの行楽需要なども見込まれる。新学期も始まり学校給食が再開することにより需要の回復が期待できる。

以上のことから当市場の上物平均価格は480円前後、中物平均460円前後と予測する。

豚 日別相場表（3月）



### 出荷者の皆様へ

PEDをはじめとする様々な病気を予防するため、防疫体制を強化しております。生体車の消毒など、衛生担保のため、引き続き皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

東京都港区港南2-7-19

東京食肉市場株式会社

TEL:03-3740-3111 FAX:03-3472-0127

URL <http://www.tmmc.co.jp/>